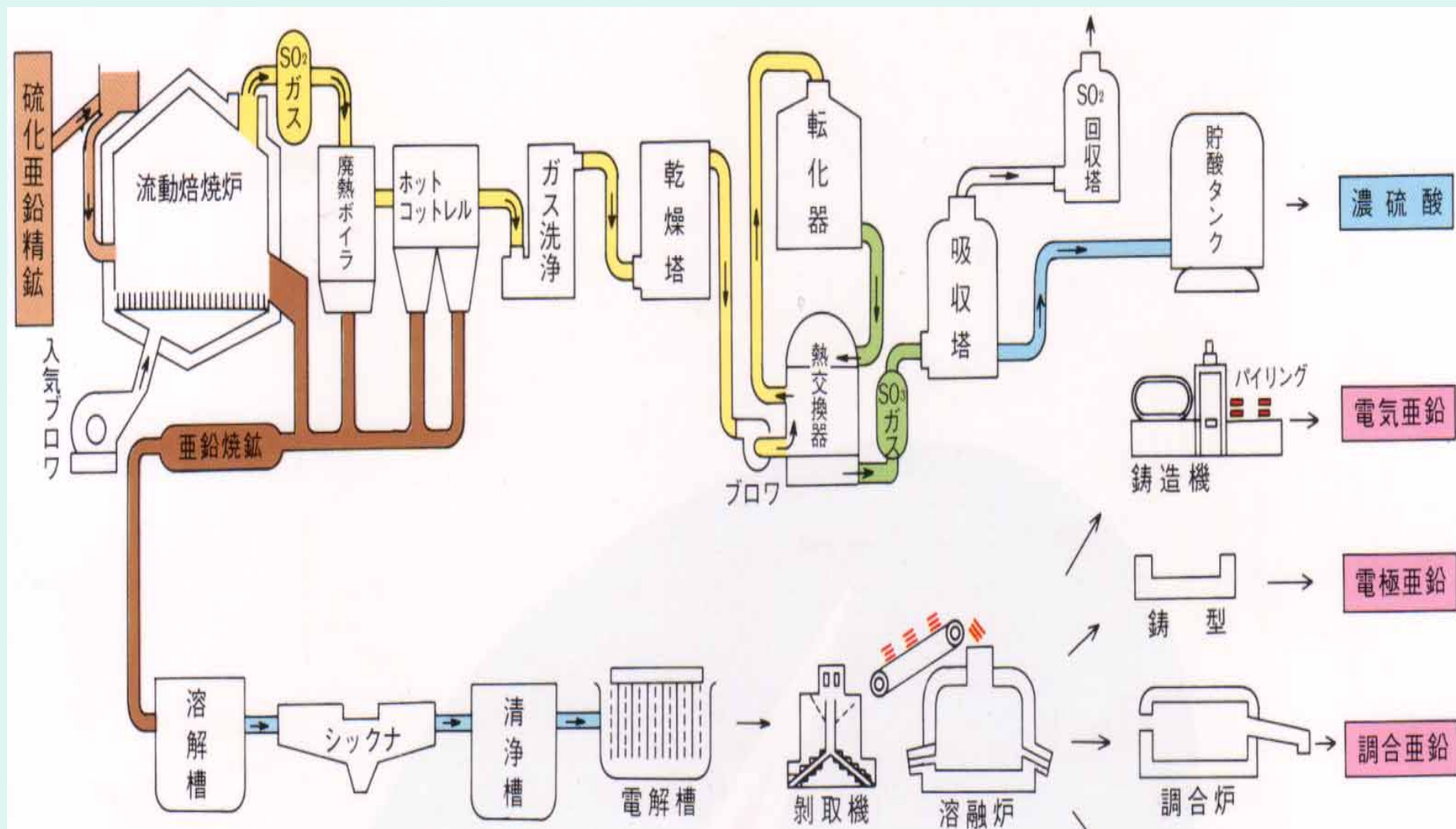


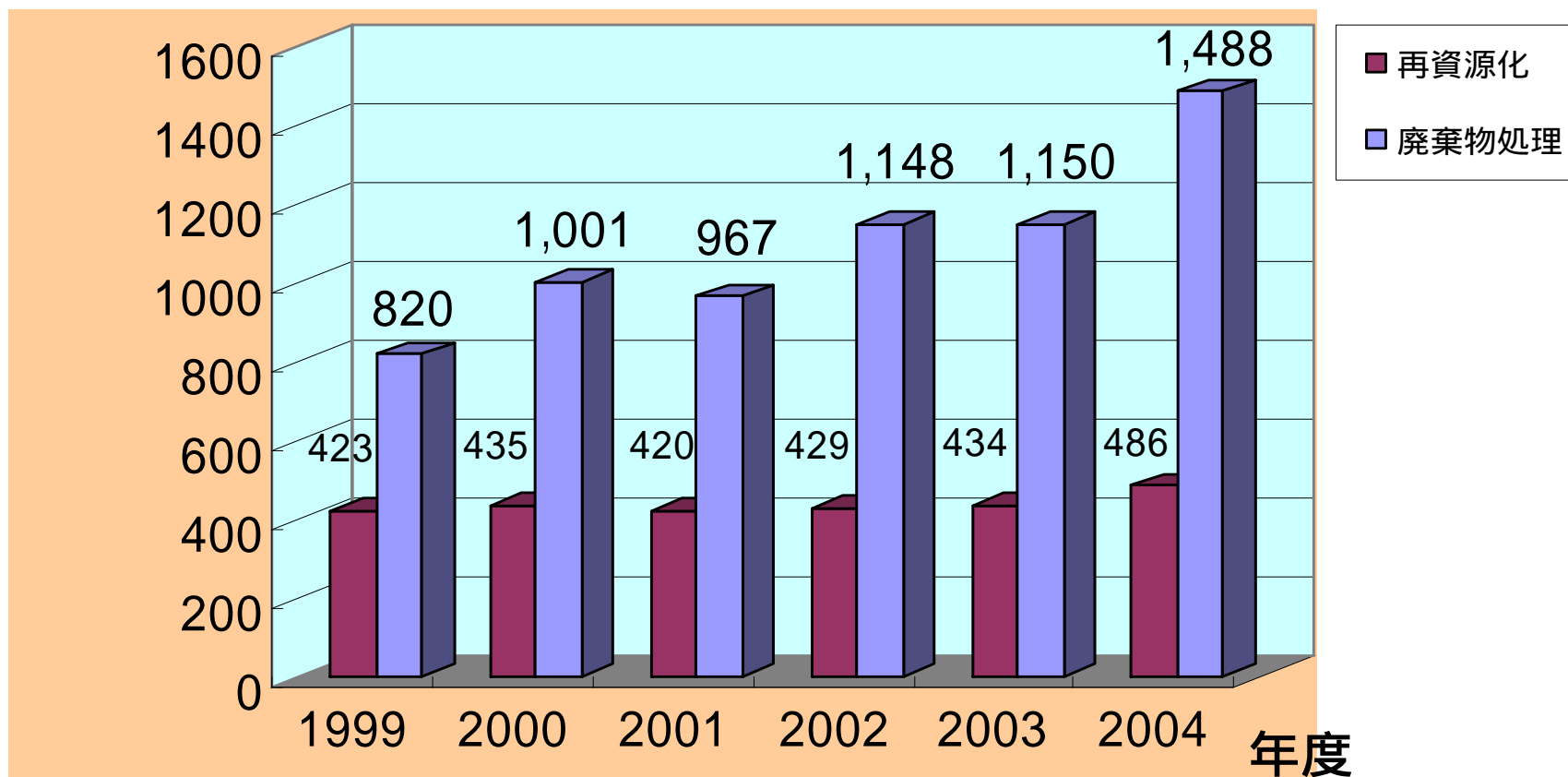
# 亜鉛製錬工程



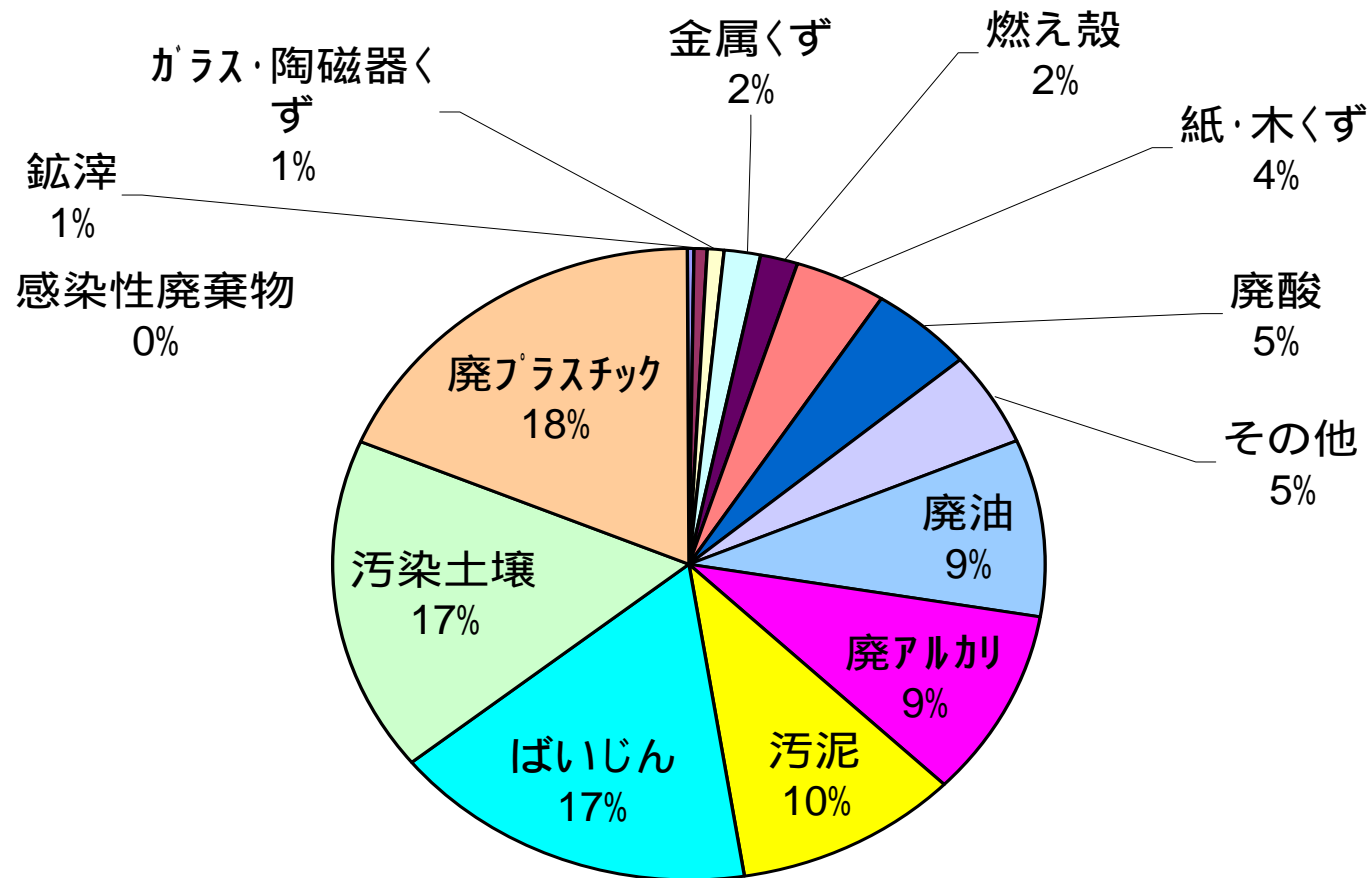
# 再資源化事業・廃棄物処理の貢献

## 再資源化と廃棄物処理

千トン



# 再資源化原料・廃棄物の種類

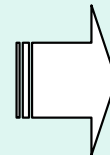


廃棄物の種類

# ガイドラインの概要

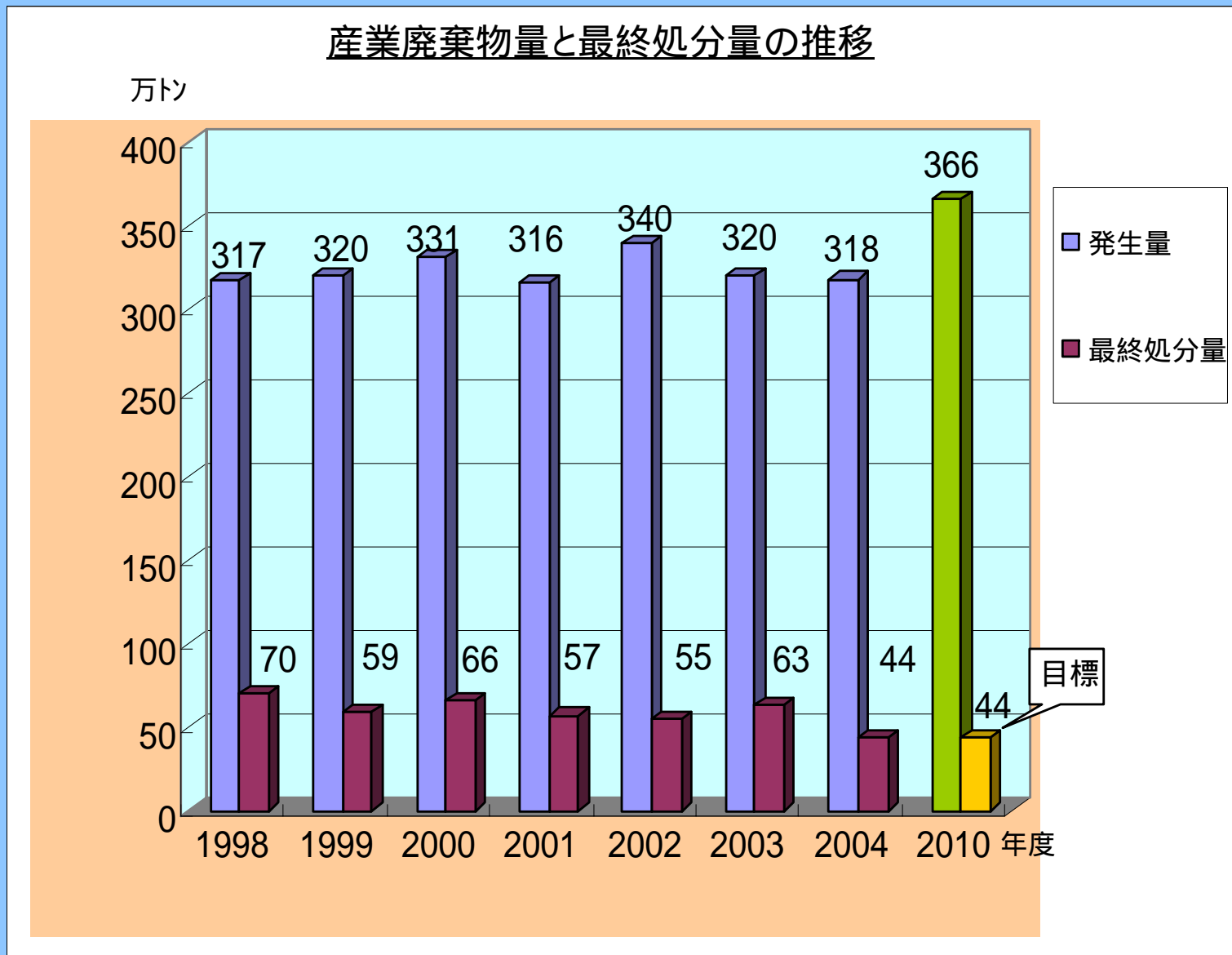
産業廃棄物の最終処分量の削減目標  
平成10年度比で平成22年度に37%削減

ベンチマーク		平成10年度	
・発生量	:	317	万トン
・最終処分量	:	70	万トン
・最終処分比率	:	22	%



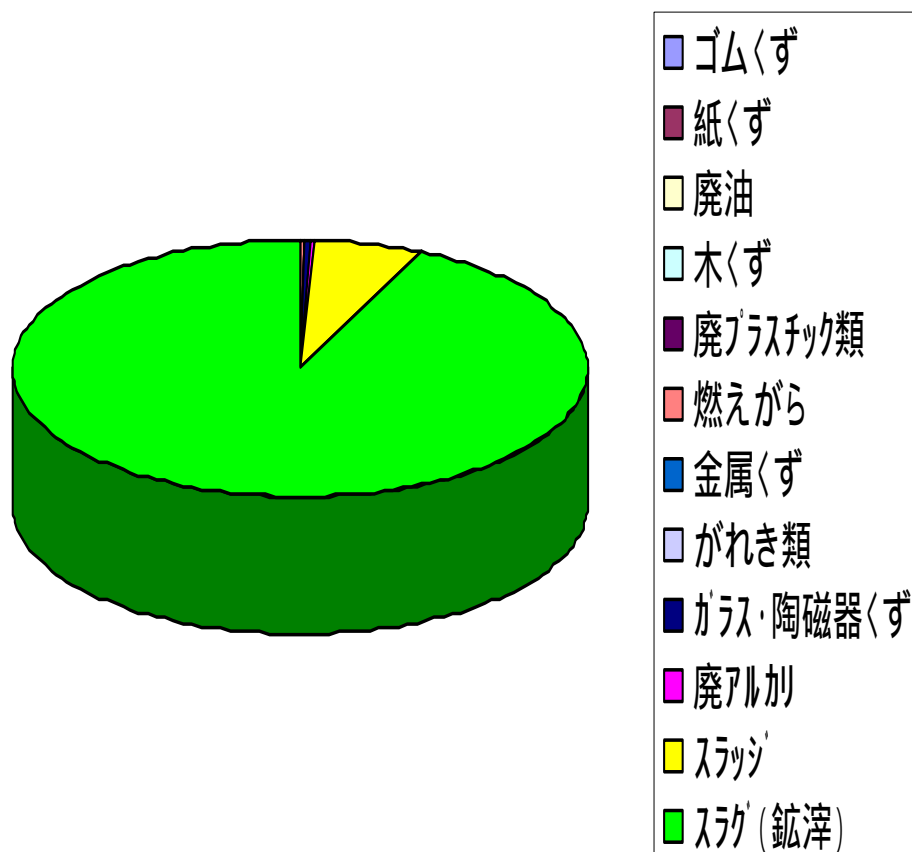
削減目標		平成22年度	
・発生量	:	366	万トン
・最終処分量	:	44	万トン
・最終処分比率	:	12	%

# 最終処分量の実績推移



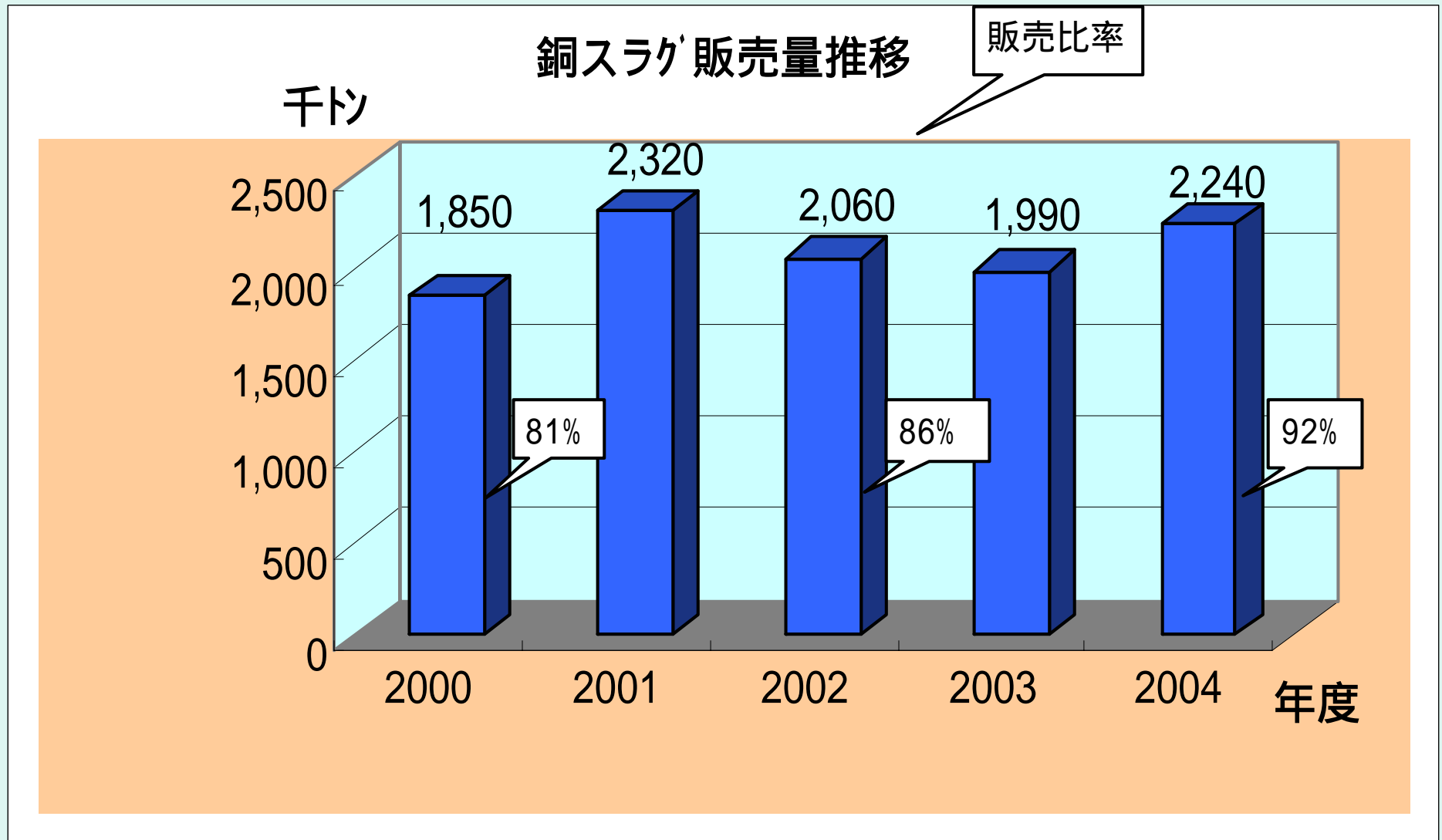
# 有価発生物・産業廃棄物内容

有価発生物、産業廃棄物



ゴムくず	11	0%
紙くず	135	0%
廃油	655	0%
木くず	864	0%
廃プラスチック類	1,323	0%
燃えがら	1,466	0%
金属くず	3,108	0%
がれき類	4,487	0%
ガラス・陶磁器くず	5,350	0%
廃アルカリ	11,174	0%
スラッジ	191,400	6%
スラグ(鋳さい)	2,958,396	93%
計	3,178,369	100%

# 銅スラグの販売推移



# スラグの有効利用促進

- 銅スラグに関する共通パンフレットによる普及活動
- スラグ類の分析方法に関するJIS作成





# 道路用非鉄スラグの供用性評価

- 全国5箇所の製錬所構内道路での試験舗装
- 岡山県道でのスラグを用いた試験舗装
- (独)土木研究所の試験走行路での促進載荷試験による基礎データの収集



# グリーン購入法特定調達品目の指定

銅スラグ及びフェロニッケル  
スラグに関して

- ・平成14年2月  
    コンクリート用細骨材として指定
- ・平成18年2月  
    ケーソン用中詰め材として指定



# 今後講じる予定の措置

## 規格類、マニュアル類の整備

- ・試験走行路で促進载荷試験を行い供用性の基礎データを収集する。
- ・18年度中に道路用非鉄スラグのJIS原案作成を目指す

## 再資源化技術開発の推進

- ・最終処分されている非鉄金属含有廃棄物の再資源化と再資源化量の拡大

## 副産物のリデュース・リサイクルへの取り組み継続強化